

2019年1月4日

BS12 トゥエルビ

(ワールド・ハイビジョン・チャンネル株式会社)

## 2019年 年頭の辞

ワールド・ハイビジョン・チャンネル株式会社 代表取締役社長 森内譲による全役職員向け「2019年 年頭の辞」を下記の通りお知らせ致します。

### 記

皆さん、新年あけましておめでとうございます。

2018年を振り返ると、米中貿易摩擦の激化などの影響もあって世界経済の下振れリスクが高まり、年末には世界的な株安の動きも見られました。先行き不透明感が残った一年でした。

2018年の当社は、新・中期経営計画（2018年3月期 - 2020年3月期）で設定した在り姿（目指す姿）と定量目標の実現に向け、2年目のアクションプランを着実に実行してきました。4月からは当社初となる自社スタジオが稼働開始し、10月からはBリーグの情報番組「水曜バスケ！」を自社スタジオから生放送しています。新スタジオを活用した自社制作番組の品質向上、コンテンツ強化に引き続き取り組んでいきます。

また、2017年10月より放送開始した音楽トーク番組「ザ・カセットテープ・ミュージック」が「第8回衛星放送協会オリジナル番組アワード」バラエティ番組部門最優秀賞を、8月に放送したドキュメンタリー番組「BS12 スペシャル 核の記憶 89歳ジャーナリスト 最後の問い」が「ATP 上方番組大賞 特別賞」をそれぞれ受賞するなど、当社番組制作の取り組みを評価していただいたことを大変喜ばしく思います。

BS放送業界では、12月から「新4K8K衛星放送」17チャンネルが一斉に開局し、新たな放送の時代を迎えました。「次の10年（2020年～2030年）を生き抜くための体質強化」と「業容拡大へ向けた新規事業育成」を加速させていくためにも、組織の結束力強化に努めると共に、健全な緊張感を持って業務に臨み、より視聴者から“選択される局”を目指していきましょう。

最後に、皆さんとご家族のご健勝とご活躍を祈念し、私の新年の挨拶とさせていただきます。

以上